

平成29年度 道路局運営方針

1 基本目標

「チーム道路」の総力を結集し、市民生活や横浜経済を支える強靱な都市基盤を構築するとともに、安全・安心な道路・河川空間、災害に強いまちづくりを実現します。

2 目標達成に向けた施策

中期4か年計画の目標達成とその先を見据え、3つの視点から取組を進めます。

(1) 横浜の持続的な成長・発展を支える都市基盤の整備

～都市の骨格を強固なものとし、活力あるまちへ！～

横浜環状道路の早期整備を実現することで、本市の高速道路ネットワークを充実させ、横浜港の国際競争力の強化をはじめとする広域的なアクセス性の強化、災害時のリダンダンシー（多重性）の確保、幹線道路における渋滞の緩和などを図ります。

さらに、都市計画道路等の整備を着実に進め、市民生活における利便性・安全性向上、市域の一体化を図るとともに、地域を分断し、渋滞の原因となっている「開かずの踏切」の解消に取り組めます。

また、米軍施設返還跡地の利用など、まちづくりにあわせた効果的な道路整備を進めます。



整備中の横浜環状北西線

(2) 市民生活の安全・安心の確保

～市民生活を守り、災害に強い安全・安心なまちへ！～

ソフト・ハード両面にわたり防災・減災対策を進めることで、激甚化する自然災害や切迫する巨大地震による被害を最小限に抑えます。

また、生活道路や通学路における安全対策を進め、子どもや高齢者など誰もが安全・安心に利用できる道路空間を実現していきます。

加えて、道路・橋梁、河川施設等の老朽化が進む中で、計画的な保全・更新、維持管理により、安全性の確保、長寿命化を図っていきます。



老朽化による河川の護岸崩落

(3) 魅力あるまち・みちづくり

～魅力や利便性を向上し、誰もが住み続けたいまちへ！～

市民生活を支える鉄道駅等へのアクセス改善、周辺地区のバリアフリー化など道路交通環境の改善を進めます。

また、「健康寿命日本一」の実現に向けて、健康みちづくりなどを進めるとともに、生物多様性に配慮した河川環境の整備などにより、まちの魅力を高めていきます。

さらに、「ハマロードサポーター」や「水辺愛護会」による道路・河川の美化活動を支援するなど、市民の皆様との協働による取組を充実していきます。



健康みちづくりの推進

3 目標達成に向けた組織運営

これまで受け継がれてきた「技術力」を組織的に継承し、人材育成に取り組むとともに、職員が意欲と能力を最大限発揮できる職場環境づくり、ワーク・ライフ・バランスや業務の効率化を意識して働き方改革に取り組みます。

また、市民の皆様や社会からの要請に全力で応える意識を職員一人ひとりが持ちながら、道路局、土木事務所が「チーム道路」で一丸となって取り組みます。

